

2019年災害時被災状況報告訓練について

神奈川歯科大学附属病院 薬剤科 山崎勇輝

神奈川県病院薬剤師会では例年、大規模災害に備え災害時被災状況報告訓練を実施しています。災害時には被災状況を取りまとめ把握することから始まります。今回の訓練では報告方法を FAX、メール以外に神奈川県病院薬剤師会ホームページに直接送信用の災害時被災状況報告書連絡フォームを設けました。各施設からの災害時被災状況報告書を取りまとめましたので報告いたします。

【被災想定】

被災日時：令和元年9月2日（月曜日） 午前9時

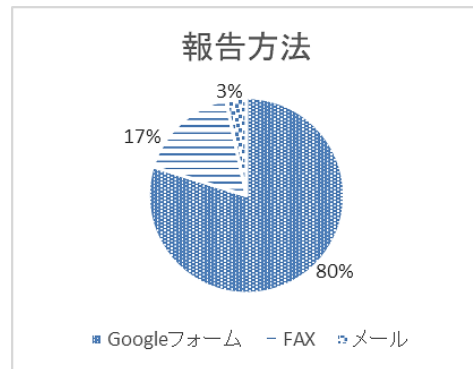
災害規模：横浜市全域（横浜地区）

地区を中心とした震度5強の地震が発生。

東日本大震災によって被災した状況を考慮しての報告。

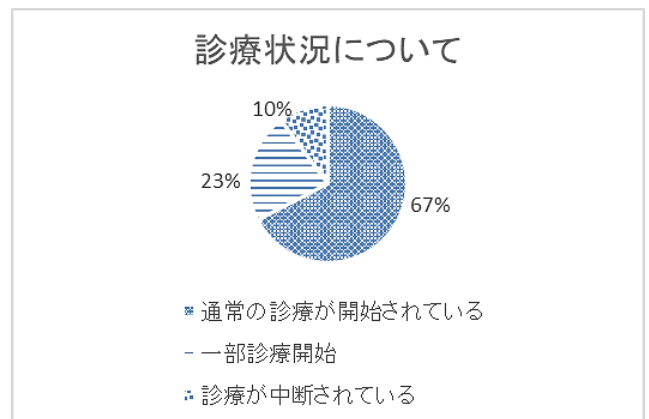
1.報告施設件数

	施設数
Google フォーム	71 件
FAX	15 件
メール	3 件
合計	89 件



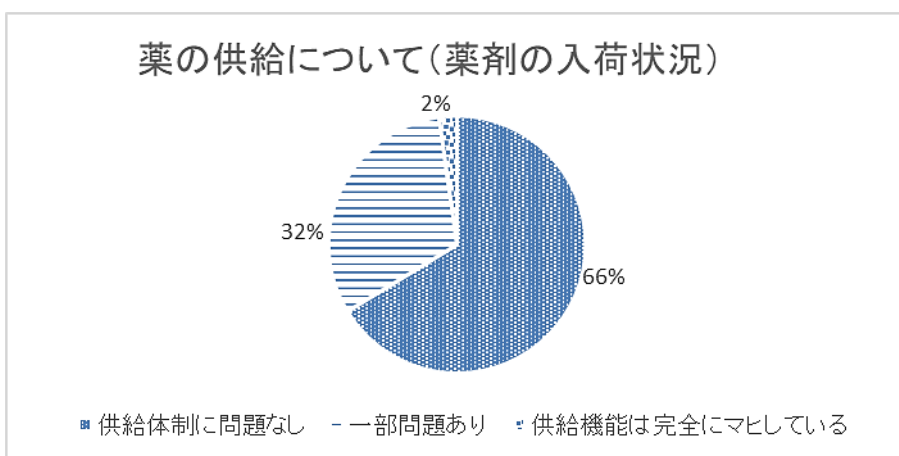
2.診療状況について

通常の診療が開始されている	60 件
一部診療開始	20 件
診療が中断されている	9 件



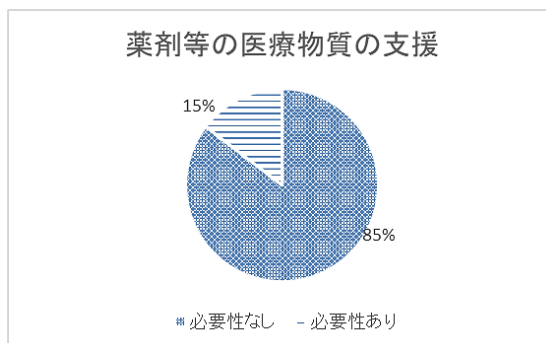
3. 薬の供給について（薬剤の入荷状況）

供給体制に問題なし	59 件
一部問題あり	28 件
供給機能は完全にマヒしている	2 件



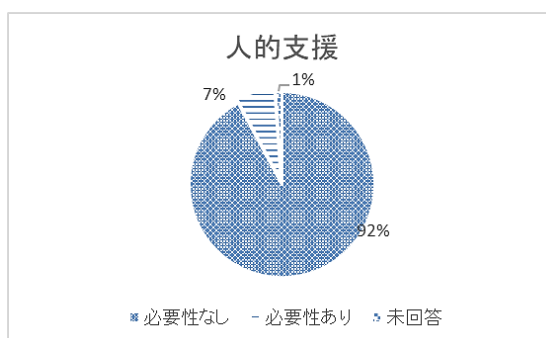
4. 薬剤等の医療物資の支援

必要性なし	76 件
必要性あり	13 件



5. 人的支援

必要性なし	82 件
必要性あり	6 件
未回答	1 件



6.施設の現状について、救援が必要な場合のフリーコメント（原文のまま記載）

施設	施設の現状について	救援が必要な場合
A	一部卸との連絡が取れていない	現時点では医薬品の不足はないが、早急な医薬品供給の体制が望めなければ、医薬品の支援が必要になる
B	供給はされるが、卸の配送回数の減少	
C	現在の在庫に問題はないが、透析液の供給に確約が取れていない状況	今後被害者の搬送次第で透析液や輸液が不足する見込み
D	卸へ連絡がつかない	県薬剤師会（病院でなく）からの応援などあればお願いしたい。
E	建物自体の損傷激しいです	
F	透析が継続不可	透析液及び生食が必要
G	救急外来は通常通り行っています。	
H		建物の破損により保管薬剤の取り出しに時間がかかり、使用可能薬剤が大きく制限されているため、一時的な緊急薬剤を確保する必要がある。
I	周囲が液状化しているため今後の状況が不明	現在は輸液類は備蓄で対応。今後の供給の状況では緩和ケア病棟使用の麻薬が必要になる可能性あり。
J	外来診療は入院患者の状況把握が完了したため、一部外来診療が開始した。 薬の供給に関しては、納品時間の遅れはあるものの欠品はないとの事。	
K	電力の供給に制限があるため、診療行為に支障あり	
L	被害軽微のため診療に支障なし	
M	ライフライン大丈夫	卸の状況わからず

N	帰宅可能な患者から帰宅させている状態	
O	一部卸からの供給が滞っている	
P	産科病院のため、不安になった妊婦さんが多数来院。	
Q	建物の一部に亀裂	
R	DI 室担当が棚が倒れて負傷。業務は停止している。 院内、一部停電等あり。	
S		看護師・ヘルパー・介助者などマンパワーが不足してます
T	被災状況軽微により、診療可能。 DMAT 本部設置。	遠方居住のスタッフが多く、召集が困難なためスタッフ不足。
U	医師到着順に開始。配達に遅れあり	
V	海拔 3m のため津波の心配があり、的確な津波情報がくるまで緊急性を要する診療以外は中断。主要取引業者に約 5 日分の在庫を確保されている。	周辺住民が流れ込みトリアージが上手く進まないため
W	停電があり、診療中止となった	
X	一部棚等から本屋文具が落下したが、診療には影響なし	
Y	設備の支障がないことを確認した診療科から診療を開始している。M 社、S 社は支店が近くであるため供給可能との連絡があったが、T 社は電話連絡不能となっている。	
Z	停電により午前中は PC 使えず。卸業者の納入が遅れているが在庫で足りている。	

まとめ

今回の報告訓練では報告方法を FAX、メール以外に神奈川県病院薬剤師会ホームページに直接送信用の災害時被災状況報告書連絡フォームを設けました。この連絡フォームからの報告は 80%と多く使用されました。また集計時に報告時間が正確にわかり、集計作業も効率的に行うことができました。今後は被災状況を把握してからの具体的な活動方法等を検討していけたらと思います。ご協力ありがとうございました。